

Part 1 基本情報

1. ルーマニアプロフィール

- | | |
|-----------|---|
| (1)正式名称 | (和文)ルーマニア
(英文)Romania |
| (2)政体 | 共和制 |
| (3)首都 | ブカレスト |
| (4)面積 | 23万8391平方km |
| (5)人口 | 2167万人(2004年) |
| (6)民族 | ルーマニア人89%、ハンガリー人7%など |
| (7)言語 | 公用語 :ルーマニア語 |
| (8)宗教 | ルーマニア正教87%、カトリック5%など |
| (9)略史 | 106年先住ダキア人国家をローマ帝国が征服。15世紀末オスマン・トルコの宗主権下に入る。1877年トルコから独立し、ルーマニアとなる。1918年トランシルヴァニアを併合して大ルーマニア王国となる。1940年領土の一部を旧ソ連、ハンガリーに割譲。1947年王政廃止、人民共和国成立。1989年チャウシェスク政権崩壊、国名をルーマニアに変更。 |
| (10)在留日本人 | 255人(2005年12月) |
| (11)気候 | 温帯性気候と大陸性気候が混在する典型的な中部ヨーロッパ型気候である。山間部の気候は厳しく、降雨、降雪が多いのに対し、平野部は干ばつが多い。年平均気温は北部で摂氏8度、南部で11度である。 |

【参考】
「外務省ホームページ-各国・地域情勢-」外務省
『最新世界各国要覧 10訂版2000』東京書籍

2. 業務のための基礎データ

(1)JICA事務所の概要(ルーマニア駐在員事務所)

名称 :JICA/JOCV Romania Office
住所 :Aleea Alexandru 9A, 3rd Floor, Sector 1, Code 011821, Bucharest,
Romania

(注)2007年3月以降は同じビルの4階へ移転予定。

連絡先 :国番号 :40
市外局番 :021
電話 :+40-21-231-6723~5
FAX :+40-21-231-6726
URL :http://www.jica.go.jp/romania/index.html
E-mail :office@jica.ro

執務時間 :9:00~17:00(昼休み12:30~13:30)

休日：「(3)官公庁の祝日」に準じる。

事務所までの交通：

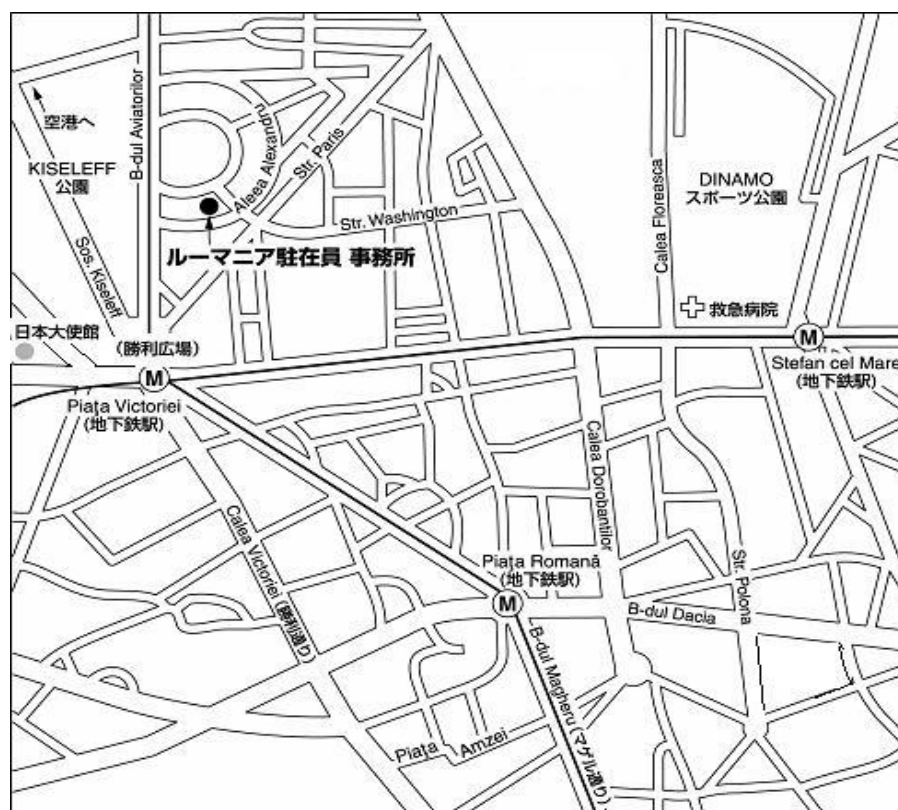
【空港から】

空港から市内までは約20km、所要時間は30分程度。タクシーと空港バスとがある。タクシーはメーター制となっており、空港から市内まで約20米ドル程度。タクシー運転手には、JICA事務所の住所を教え、さらに建物がスペイン大使館の前にあると言うとわかりやすい。(事務建物1階はKLM航空オフィス)空港バスはブカレスト市内まで1時間に数本運行している。券売所の係員が不在の場合、バスの運転手からチケットを買うことも可能だが、降車後の問題もあるので、初めての人にはあまり勧められない。

【空港以外から】

タクシーの利用を勧める。流しのタクシーは法外な値段を吹っかけることがあるので、電話で呼び出す無線タクシーが安全で確実。白タクは安全上の問題から利用しない。料金は、市内近距離2～4米ドル程度。メーター制なので、乗車時にはメーターをスタートさせたことを確認する必要がある。

事務所周辺地図



(2) 日本との時差、
サマータイム

日本との時差：-7時間

サマータイム：夏時間(4～10月下旬ごろ)期間中の時差は-6時間となる。

(3) 祝日、官公庁
の休日

祝日：1月1日	元日	R
1月2日	年始休暇	J
1月3日	年始休暇	J

2月12日	振替休日(建国記念の日)	J
3月21日	春分の日	J
4月9日	イースターマンデー	R
5月1日	メーデー	R
5月4日	みどりの日	J
7月16日	海の日	J
9月17日	敬老の日	J
10月8日	体育の日	J
11月23日	勤労感謝の日	J
12月1日	ナショナルホリデー	R
12月24日	振替休日(天皇誕生日)	J
12月25日	クリスマス	R
12月26日	クリスマス休日	R
12月31日	年末休暇	J

(2007年)

注：J—日本の休日、R—ルーマニアの休日

調査団の派遣を避けるべき時期

1) 4月8日からのイースターの週

2) 7月、8月の夏期バカンスシーズン中

3) クリスマス休暇が始まる12月18日頃から1月の第1週まで

(ルーマニアでは、イースター、クリスマス前後は1週間近く休む。また夏期休暇は1カ月近くとる。)

この時期は政府機関および民間も留守要員のみとなり、事務処理機能が停滞するため、派遣には慎重な時期設定が必要。

官公庁の休日：上記祝日と土曜日、日曜日

- (4) ビジネスアワー
- | | |
|----|----------------------------|
| 官庁 | 8:00～16:00(土・日休み) |
| 銀行 | 9:00～17:00(土・日休み) |
| 商店 | 10:00～20:00(日曜日はほとんどの店が休業) |

- (5) 言語
- 業務：一般的に英語が通用する。
- ホテル、買い物、食事：英語が通用する所もあるが、市場や一般商店などではルーマニア語しか通じない。

- (6) 通貨
- 現地通貨単位：レイ(Lei)。100分の1レイはバニ(Bani)
- 1 ユーロ=3.4248 レイ(2006年12月19日付)
- 1 米ドル=2.6004 レイ(2006年12月19日付)

(7) 関係機関

【在外日本関係機関】

●在ルーマニア日本大使館

住所 : 8th floor, America House East Wing, Nicolae Titulescu Nr.4-8, Sector 1,
Bucharest, Romania

電話 : +40-21-319-1890~1 / FAX : +40-21-319-1895~6

●日本貿易振興機構(JETRO)ブカレスト事務所

住所 : I.B.C. MODERN, 34-36, Carol I Blvd., 5th Floor, Sector 2, Bucharest,
Romania

電話 : +40-21-310-6801~2 / FAX : +40-21-310-6800

【ルーマニアの関係官公庁】

JICAの窓口はルーマニア外務省アジア太平洋局。

(8) 有用サイト

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html> (外務省「各国・地域情勢」)

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html> (外務省「渡航関連情報」)

<http://www.romaniatabi.jp> (ルーマニア政府観光局 東京事務所)

Part 2 生活情報

※「生活情報」は特に記載のない限りJICA事務所があるブカレストの情報を中心に掲載しています。

1. ホテル、住宅



1-1 ホテル

ブカレストの中心地であるマゲル通りとビクトリア通り沿いに多くのホテルがある。一般的に、物価に比べてホテル料金は高めである。支払いは原則として現地通貨払い。多くのホテルでクレジットカードによる支払いも可能である。一部のブカレストのホテルは長期滞在者用のアパートメントも有している。

短期滞在者用にはアパートメントホテルがあるが、部屋はゆったりしていて、リビングルームと独立した台所がついており、最小限の調理器具と食器類も揃っている。

アパートメントホテルは不動産会社から紹介を受ける。大半の関係者は赴任当初アパートメントホテルを利用している。

主なホテルは以下のとおり。



- ・Intercontinental Hotel (インターコンチネンタル・ホテル)
- ・Minerva Hotel (ミネルバ・ホテル)
- ・Hotel Ambassador (ホテル・アンバサドール)
- ・Ibis Hotel (イビス・ホテル)
- ・Lido Hotel (リド・ホテル)



インターコンチネンタル・ホテル



ミネルバ・ホテル



ホテル・アンバサドール



イビス・ホテル



専門家の住居(例)

1-2 住宅事情

最近新築の外国人用の住宅物件が増えてきているが、家賃は年々値上がりしている。

1-3 住宅の探し方

住宅は不動産会社を通して探すのが一般的。不動産会社はマゲル通りやビクトリア通りの周辺に多い。

ホテルやレストランなどで入手できる無料情報誌にも不動産会社の物件情報が掲載されている。まずは英語が通じ、かつ対応のよさそうな不動産会社を探し出すことである。形態(アパート、独立家屋など)、部屋数、地域、予算などの希望を伝えれば、該当する物件を紹介してくれ、家主の立ち会いのもと、物件を見

ることができる。

また、地元の新聞にも物件広告が掲載されており、電話で連絡すると物件を見せてもらえる。家賃は通常ユーロで記載されている場合が多い。

主な不動産会社は以下のとおり。



・Artas (アルタス)

1-4 住宅選定上の留意点

特に留意すべきは、地域、物件(形態、設備、間取り)、安全性、家賃、家主等であるが、これらすべてが満たされることはまれであり、それぞれの優先順位で折り合いをつけることになる。

<地域>

日本人駐在員が多く住む地域は、プリマベイラ、アヴィアトリロール、フレンチヴィレッジなどであり、他の地域に比べ家賃は割高ではある。場所により、緑が多く環境のよい地域、中心部に近く交通の便のよい地域がある。なお、学齢期の子供のいる家庭では、学校との位置関係を考慮する必要がある。

<物件>

ブカレストの住宅は、ビラと呼ばれる独立家屋、古いアパート、新しいアパートに分類することができる。一般に、アパートの出入り口にはセキュリティーの設備があるが、なかには機能していないものがあるので注意すること。エレベーターは狭く、他人と乗り合わせるには気兼ねすることが多い。古いアパートではエレベーターが途中で止まる危険性もある。

家具付き物件では生活に必要な家具と電化製品のほとんどが揃っている。また、ケーブルテレビが入っているところが多い。新規に電話回線を引くには煩雑な手続きが必要になるため、すでに電話がついていることが重要である。

間取りは部屋数の多いものから、ワンルームタイプまで幅広くある。冬の寒さを考慮して、窓は二重になっているか、気密性があるかなども確認したほうがよい。ドアには、インターホン、錠前、ドアスコープ、ドアチェーン、かんぬき錠、呼び鈴などが必要であり、その有無を確認すること。

入居前に設備に不具合がないか、家具付きの場合は壊れていないか、家主立ち会いのもと、実際に家具を確認したほうがよい。

車を所有する場合は、専用の駐車場あるいは車庫の有無を確認すること。一時帰国や旅行などで長期間留守にする間、安全に車を保管しておく場所が必要である。

<家主>

突然の家賃値上げを要求してきたり、設備や備品の修理に誠実に対応してくれない家主も時々見受けられる。信頼のおける不動産会社を選び、契約前に契約書を熟読し確認する必要がある。

<その他>

ルーマニアの冬は寒いいため、特に暖房設備の機能を確認する必要がある。暖

房システムには部屋ごとの個別暖房、一戸ごとの集中暖房、地域暖房がある。また、2通りの暖房方法を備えたものもある。

風呂の給湯方式も確認したほうがよい。電気式の給湯器を備えたところもあるが、ガスで湯を沸かす給湯器のほうが便利である。温度と給湯量は給湯器の容量により決まる。ルーマニアのアパートの90%以上が、最寄りの火力発電所から供給されるお湯を建物全体にパイプで行き渡らせる集中暖房方式で、蛇口をひねればお湯が出る。ただし、給湯時間が制限されている場合がある。このほか、一部のアパートでは、建物の地下のボイラーで湯を沸かして建物全体に供給しているところもある。もしくは、ごく一部であるが、各戸についている給湯器のみで賄っているところもある。

1-5 住宅の契約

家主には家賃収入に対して納税の義務が生じるため、ルーマニア語による正式な契約書を作成しての役所に届けなければならない。住居契約書は、家主と借り手の双方が所持する。ビザの申請・延長、車の登録などに住居契約書の写しが必要になる。契約書がルーマニア語の場合、同時に英語の契約書も作成しておいた方がよい。

契約期間は家主との協議により、1～2年間となる。契約時に3か月の家賃の前納や1か月の保証金の支払いを求められることが多いが、これは家主との協議によって決まる。

通常不動産会社には、仲介手数料として1か月分の家賃の50%前後を支払うことになるが、これは不動産会社との協議により決まる。

契約期間満了の30日前までに、契約を更新するか否か、家賃等について話し合う必要がある。

家具付きの住居の場合、家賃に家具の使用料も含まれているのが一般的だが、確認しておくこと。また、修理すべき箇所があれば、入居前にその費用の負担を確認しておく必要がある。家賃の支払いは、銀行振り込みまたは家主に現金で払うのが一般的である。

アパートでは、家賃のほかに管理費などが必要である。管理費は管理人に支払う。管理費にはガス、上下水道、温水、暖房、ゴミ処理、公共の場の電気代等が含まれる。

1-6 ガス、水道などの手続きと管理

契約時に確認するべきであるが、電気、ガス、水道などは、特に借り手が手続きする必要はなく、入居後すぐに使える場合が多い。通常電気代は電力会社から、電話代は電話会社から毎月請求書が郵送されてくるので、その請求書を持って支払いに出向く。ビラは1階と2階が独立しているが、同じ建物に家主が住んでいれば、これらの支払いを代行してくれることがある。

ゴミに関しては、たいていアパートメントごとにダストシュートもしくは共同のゴミ

捨て場があり、そこにいつでも捨てられる。一軒家の場合、道路にプラスチックのゴミ容器を置いておけば、ゴミ収集車が回って集めに来てくれる。いずれの場合も、ゴミ収集代は支払わなければならない。ルーマニアではまだゴミの分別収集は本格的に始まっていない。

1-7 家電

(1) 電圧

電圧は220Vである。変圧器は、日本製品に対応するタイプのものは手に入らないので、日本から持参したほうがよい。



コンセント

(2) コンセント、モジュージャックの形

コンセントの形状は日本と異なり、丸い差し込み口が2個ついた丸2ピンヨーロッパタイプである。

モジュージャックの差し込み口は、日本と同じである。日本の電化製品を使用する場合、コンセントアダプターが必要である。



プラグ

(3) 家電製品

テレビ、電子レンジ、冷蔵庫、洗濯機、掃除機、ラジカセ、アイロン、ヘアドライヤーなど現地で調達できる。日本のメーカーのものも見つけることができる。



モジュラー

ビデオは日本と違いPAL方式だが、PAL/SECAMの両方式とも見られるビデオデッキは入手しにくい。

炊飯器は中国製のものが買えるが、性能の点で日本から220Vに対応するものを持参したほうがよい。パソコンは現地でも入手可能だが、日本語のソフトを持参する必要がある。

1-8 家具保険

該当情報なし。

1-9 その他

特になし。

2. 衣料、理容



2-1 衣料全般

(1) 一般事情

日本の四季の衣料で対応することができる。中央ヨーロッパ特有の移動性大陸気候帯に属しており、冬季と夏季の全国の平均気温は、それぞれ零下3度と22～24度である。ただし北と南では3度の温度差があり、平野部と山岳地帯では

5～10度の温度差がある。

年間の平均降水量は637mmである。山岳地帯では1000mmを超えるが、ベレガン平野では500mmであり、ダブルジャとドナウデルタでは400mmである。湿度が低く、年間を通して乾燥している。

春と秋は短く、年間を通じて大幅な温度変化を伴う。夏は摂氏30度を超える日が多く、半袖シャツや短パンが必要である。

冬は寒いが(ブカレストは降雪量は少ないが、池や湖が結氷する)、一般に住宅の暖房設備は整っており、窓は二重で気密性が高いため、Tシャツやトレーナーなどでも過ごせる。夜も毛布1～2枚で十分である。掛け布団などの寝具は容易に購入することができる。屋内と屋外の温度差は厚手の防寒着と重ね着で調節する。

(2) 日本から持参したほうがよい衣料

下着、靴下、ワイシャツ類は品質やサイズが日本人に合わない場合も多いため、買い足しても持参したほうがよい。手袋やマフラーも必要である。

紳士服、婦人服、子供服などの既製品もサイズや好みが変わらない場合が多いので、必要に応じて持参するとよい。

(3) 現地で調達したほうがよい衣料

輸入品や毛皮製品、皮革製品が数多く出回っている。防寒着や防寒靴も豊富である。

(4) その他の留意点

既製品を購入した場合、サイズ直しは購入した店ではできない。購入後に仕立て店に持っていくことになる。

2-2 礼装

(1) パーティー

人によるが、地元の人を自宅に呼んだり、呼ばれたりという機会は少ない。レストランで会食することが多いが、公的な席では背広や少し改まった服装で対処し、日本人会の会合やパーティーでは、その趣旨に合わせた服装で参加する。

ルーマニア社会では誕生パーティーが特別な意味を持っている。誕生日を迎えた人自身が料理と飲み物を用意し、お客を招待する。職場でも招待を受ける機会があり、その場合は執務中の服装でよい。

(2) 式典

該当情報なし。

(3) 冠婚葬祭

結婚式には男性は背広、女性はドレスかスーツというのが一般的である。

葬儀に参列する場合の服装は男女ともに黒い喪服を着ることを求められる。日本の喪服(洋装)で通用する。

(4) その他の留意点

それぞれの季節に応じたダークスーツや改まった婦人服を持参するとよい。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1) 洗濯

クリーニング店と取次店がある。取次店では仕上がりまで1週間程度かかるが、クリーニング店では2、3日で仕上がる。ドライクリーニングも可能である。しかし、和服やシルクなどの高級品やデリケートなものをクリーニングに出すのは避けたほうがよい。

電気洗濯機、アイロン、アイロン台、洗剤は容易に入手できる。また、一般に家具付きの住宅では全自動式の電気洗濯機が備わっている場合が多い。

(2) 仕立て、修繕

仕立て店は多い。西欧と比較して仕上がりが劣るといわれているが、好みの問題である。服地は専門店で購入し、仕立て店に持ち込むことになる。

(3) 保管

湿度が低く乾燥しているため、衣料品の保管には特に問題はない。

2-4 美容院、理髪店

市内のいたるところに見受けられる。ホテル内の美容院や理髪店は技術も高く衛生的だが、値段も高い。

一般にカミソリの刃はディスポーザブルなものが使用されているが、なかにはできるだけ替えないで済まそうとする場合もあるので、必ず取り替えるよう注文したほうがよい。ルーマニア語ができなくてもボディランゲージで理解させることが重要である。好みの髪形などを言葉で伝えるのは困難だが、写真などを示して注文するとスムーズである。

日本人がよく利用するのはホテル・ソフィテル、インターコンチネンタル・ホテルなどにある美容院・理髪店である。

毛染め、マニキュアなども注文できる。

3. チップ



3-1 チップ事情

(1) 習慣の有無

ルーマニアではタクシー、レストラン、バーなどでチップを払うのが一般的となっている。また、ホテルのボーイにもチップを払う。

(2) 各種サービスに対するチップ

一般のレストランでは、支払額にもよるが通常料金の5～10%程度のチップを払うのが習慣となっている。

タクシーではおつりの端数(コイン)をチップとしてドライバーに渡す習慣があり、おつりが少額の場合暗黙のうちに運転手へのチップとなる。

ホテルでは、荷物を運んでもらったり便宜を図ってもらった場合に、ボーイに1ドル程度のチップを渡す。掃除婦には1ドル程度のチップを枕元やベッドサイドテーブルに残しておくといよい。チップは、現地通貨の持ち合わせがなければドル、ユ

一口でもよい。

4. 食生活



4-1 外食

(1) 一般事情

ホテルやレストランなどに置いてある無料のタウン情報誌には、レストラン案内が掲載されている。ルーマニア料理、イタリア料理、フランス料理、インド料理、スペイン料理、トルコ料理、アラブ料理、中国料理、韓国料理、日本料理の店などがある。そのほか、マクドナルド、ケンタッキーフライドチキン、ピザハットもある。

また、ブカレスト市内にはパブが数多くあり、地元の人々がお酒とおしゃべりを楽しんでいる。バー、ナイトクラブ、ディスコなどもタウン情報誌に掲載がある。

(2) 飲食店

主なレストランは以下のとおりである。



- ・Balada (バラダ)
- ・Boema (ボエマ)
- ・Burebista (ブレビスタ)
- ・Casa Capsa (カサ・カプシャ)
- ・Pescarus (ペスカルシュ)
- ・Doi Cocosi (ドイ・ココシ)
- ・Casa Doina (カサ・ドイナ)
- ・La Mama (ラ・ママ)
- ・Cafe de Paris (カフェ・デ・パリ)
- ・La Belle Epoque (ラ・ベルエポック)
- ・Da Vinci (ダ・ビンチ)
- ・Capricciosa (カプリチオーザ)
- ・Trattoria Il Calcio (トラットリア・イル・カルチョ)
- ・Casa Veche (カサ・ベケ)
- ・Haveli (ハベリ)
- ・京都
- ・あさみ
- ・Golden Dragon (ゴールドデン・ドラゴン)
- ・Korera House (コリア・ハウス)

4-2 食料

(1) 一般事情

農業畜産国であるため、基本的な食料品は容易に入手することができる。チャウシェスク時代には深刻な食料不足があったが、現在はそういうことはない。

(2) 主な食品の出回り状況

<野菜>

年間を通して種類が少ない。ジャガイモ、ニンジン、タマネギ、レタス、サラダ菜、キャベツ、ハウレンソウ、チコリ、セロリ、ネギ、トマト、キュウリ、ピーマン、アスパラガス、ハーブ、白菜、大根などがある。概して見かけが悪くサイズも不揃いであるが、味はよいといわれている。冬には地元の生野菜は極端に少なくなるが、輸入ものが増え、野菜の流通状況は徐々に改善されつつある。

<魚介類>

サバ、タラ、サケ、タコ、イカなどの冷凍品がある。缶詰めや薫製品もある。鮮魚はコイ、フナ、ナマズ、川スズキ、ニジマスなどの川魚である。

<果物>

年間を通して、柑橘類、バナナ、メロン、キウイなどの輸入果物がある。季節の果物としてサクランボ、プラム、スイカ、メロン、リンゴ、ナシ、ブドウが出回る。地元産は概して味はよいが、市場のニーズが「質より量または値段」のため、見た目はよくない。

<米>

現地米の他、輸入米が手に入る。

<飲料水>

ミネラルウォーターが容易に入手できる。ルーマニア製と輸入品とがあり、炭酸ガス入り・ガスなしがある。

<その他>

ワインとヒマワリ油の大生産国である。ハチミツも豊富に産出している。

(3) 食料の入手

ピアッツアと呼ばれる市場があり、野菜、果物、雑貨などが屋外の露天で売られている。それを取り囲む形で、肉、パン、魚、卵、酒、花、雑貨などの小売店、スーパーマーケット、レストランなどがある。ほとんどの買い物はそこで済む。

なお、日本食品や調味料を入手することはできないため、赴任時に多めに持参すると重宝する。また、他のヨーロッパの都市に出かけた際に日本食材店で補給したり、一時帰国時に買い足すとよい。通信販売で購入することもできる。

日本人がよく利用する市場、スーパーマーケットは以下のとおりである。

<市場>



- ・Piata Amzei (ピアッツア・アムゼイ)
- ・Piata Domenii (ピアッツア・ドメニイ)
- ・Piata 1 Mai (ピアッツア・ウヌマイ)
- ・Piata Froleasca (ピアッツア・フロレアスカ)
- ・Piata Dorobanti (ピアッツア・ドロバンチ)

<スーパーマーケット>

西欧式のスーパーマーケットが増えており、買い物がしやすい。特にCarrefourは品揃えが豊富で、冬でも数種類の野菜を入手することができる。



- ・Mega Image (メガ・イメージ)
- ・La Fourmi (ラ・フォルミ)
- ・Metro (メトロ)
- ・Carrefour (カルフルール)
- ・Selgros (セルグロス)
- ・NIC (ニック)
- ・Billa (ビラ)
- ・Cora (コラ)

4-3 食器、調理器具

(1) 食器、調理器具などの入手

たいていの調理器具や電化製品は容易に購入することができる。調理用の電化製品は、ヨーロッパ製、日本製、韓国製と豊富にある。鍋、フライパン、西洋式の食器類も手に入る。

食器類、調理器具、電化製品は、前項のスーパーマーケットで購入することができる。例えばCarrefourのような巨大スーパーには、電化製品、衣料、雑貨、酒、飲料水、事務用品、食料品などの品揃えが豊富である。そのほか、下記のデパート、ショッピングセンターでも購入することができる。

台所用の洗剤や小物なども、特殊なもの以外は購入することができる。なお、冬でも室内が暖かいため、ゴキブリがいる。「ゴキブリホイホイ」に類似した製品や、電気蚊取り器もある。

<デパート、ショッピングセンター>



- ・Unirea (ユニレア・デパート)
- ・Bucharest Mall (ブカレスト・モール)
- ・Plaza Romania (プラザ・ルーマニア)
- ・Victoria (ビクトリア・デパート)
- ・Mario Plaza (マリオ・プラザ)

(2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具

電圧は220Vで、この電圧と差込口に合うプラグの炊飯器が必要である。東京であれば秋葉原の電気街に行くと入手できる。そのほか、魚調理用包丁、手になじみやすい包丁、包丁研ぎ機、日本独特の食器、はし、調味料入れ、おろし金、すり鉢、すりこぎなどの小物は持参したほうがよい。包丁の砥石もあると便利。

5. 生活用品の購入



5-1 家電製品

「4-2(3)食料の入手」で紹介したデパートUnireaやCarrefour、Metroなどのスーパーマーケットが、品揃えが豊富でお勧めである。

5-2 家具

大規模で輸入家具も扱う店が増えている。

主な家具店は以下のとおり。



・Mobexpert（モブエキスパート）

5-3 日用品、雑貨

Unirea、Carrefourなどの大型店に行けばたいいていのは手に入る。ただし日本よりは種類が少なく、家庭用雑貨などデザインはやや劣る。洗剤、シャンプー、せっけんなどの種類は多く、西ヨーロッパやアメリカのメーカーの製品が主流だが、日本のように肌にやさしいものやエコロジカルなものは少ないので、肌の弱い人は日本から無香料のものを持参したほうがよい。生理用品の品質は日本に比べると劣る。文具に関しては大体のものはあるが、種類が少なく品質もあまり良くないので、使いやすい文具があれば日本から持ってくるとうい。ポケットティッシュもあるが、日本のものより分厚い。

5-4 工具、素材

都市部ではBricostore やMetro等大型店で扱っている。小売店もわりとよく見かけられる。

マラムレシュ地方のような田舎の小都市でも工具店は比較的多く、小型電動工具から中型木工機械、溶接機、コンプレッサー、塗装用具までひとつとおり揃う。小型電動工具であれば、市場でも入手可能。ほとんどがドイツ、フランス、日本製で、値段は日本国内より多少割安である。電圧は220V用である。

手工具もほぼ何でも入手可能である。ドライバー、ノコギリ、カンナ、ノミ類、計器類まですべて揃う。しかし、ノコギリ、カンナ類は使用方法が日本とは逆または形状が異なるので使いづらい。砥石類は非常に少なく、あってもかなり目の荒いものだけである。ネジ、釘類は豊富。小型店ではグラム売りされている。

蝶番、ドア鍵、金物類は種類が少なく大型のものばかりである。

塗料に関しても、油性ペイント、スプレー缶など種類も豊富に売られている。しかし、日本のDIYで売られている水性ペイント、オイル塗料は入手が難しい。

材料に関しては、大型店では木材、合板も販売されているが、その他の地方では直接製材工場に買いに行くのが一般的である。値段は日本国内とあまり変わらない。

一般にルーマニア製品は品質があまりよくない。たとえばプラスドライバーはネジより柔らかく、ネジより先につぶれることがある。釘はシンのずれたものが多く、途中で曲がるのは当たり前である。10本のうち1～2本打てればよいほうで、大量に買う必要がある。



・Bricostore（ブリコストアー）

6. 金融機関



 Yellow Page

6-1 金融機関

(1) 銀行

ブカレスト市内では外資系銀行の利用者が増えてきている。地方ではBanca Comerciala Romana(ルーマニア商業銀行)を利用することが多い。

よく利用されている銀行は次のとおりである。

- ・BCR Bank
- ・ABN Amro Bank
- ・Citibank
- ・ING Bank
- ・HVB Tiriatic Bank
- ・BRD Bank
- ・Finnansbank

(2) 口座の開設と閉鎖

口座開設にはパスポートが必要であるが、比較的容易に開設できる。口座の種類は、ユーロ、米ドル、現地通貨がある。口座閉鎖も窓口へ行き手続きをすれば問題ない。

(3) 小切手

小切手の利用は一般的ではない。

(4) 換金方法

外貨から現地通貨への両替は、手持ちの現金または外貨口座から引き出した現金を持って、銀行または「EXCHANGE」という看板の出ている両替商へ行く。その際パスポートまたはIDカードの提示が必要である。レートは毎日変動するので、店頭表示のレート表で確認する。店頭に表示レートには手数料が含まれている場合があり、見かけ上レートがよくても実際はそうでない場合があるので、確認が必要。「COMMISSION 0%」という表示があれば、交換手数料はかからない。

両替商は市中に多くあり、どこの両替商でもユーロ、米ドル、カナダドル、英ポンドなどは両替できる。ブカレスト市内中心街の両替商では、円、ハンガリーフォリント、スイスフランなども両替可能である。円の交換レートは概してよくないので、大金を日本から持参する場合はユーロか米ドルにしたほうがよい。

一般的に銀行よりも市内の両替商のほうがレートはややよい。また、ヘンリー・コアンダ空港内の両替所はレートが悪い。

T/Cは市内の特定銀行でのみ両替可能である。一般の商店ではT/Cは受け付けない。

6-2 クレジットカード

クレジットカードは年々普及してきており、VISA、Master Card、American Expressなどが、ホテルや商店で使われるようになってきている。ブカレスト市内にはATMの数も多く、VISA、Master Card、Citibankカードでの現地通貨引き出

しも可能である。ただしユーロ、米ドルはATMでは引き出せない。クレジットカードで現金を引き出した場合、カード会社に応じて利子や引出手数料が加算される。

7. 交通事情



7-1 交通手段

(1) 一般事情

主要都市間を結ぶ交通は、鉄道のほかに長距離バスが運行している。また17の主要都市へは航空機(機体は年式が古い)が利用できるが、国際空港以外は有視界飛行が基本で、天候が悪いと欠航したりする。便数も少なく、乗客が少ないと一方的に欠航するため使いにくい。

国外へは航空機のほかに国際列車が運行しており、近隣国への交通手段としては国際長距離バスもある。

<航空>

国際空港を兼ねたものとして、ブカレストのヘンリー・コアンダ、ブカレストのバネアサ、コンスタンツァのミハイ・コガルニチャヌ、スチャバ、アラド、クルージュ・ナポカ、シビウ、ティミショアラ、ヤシ各空港がある。

国内線は、国有航空会社タロム航空(TAROM)が全国の主要10都市(Arad, Baia Mare, Cluj-Napoca, Iasi, Oradea, Satu Mare, Sibiu, Suceava, Tirgu Mures, Timisoara)とブカレスト間を運航している。

タロム航空は、エアバスA-310、ボーイング737、BAC1-11などの機材を所有している。そのほか、LAR、Romavia、Miravia、DACAir、JAROなどの航空会社があり、ルーマニアと世界の42都市とを結んでいる。

日本からは直接ルーマニアに入ることはできないため、ヨーロッパの都市を経由することになる。

<鉄道>

1995年現在、鉄道網の総延長は1万1376kmであり、そのうちの約30%が電化されている。国内の主要都市のほか、ベルリン、ミュンヘン、プラハ、ウイーン、ブダペスト、ベオグラード、ワルシャワ、キエフ、モスクワ、ソフィアなどの都市へも運行している。

国内列車には、都市間特急、特急、急行、普通列車がある。また、寝台車もある。それぞれに1等車と2等車がある。1等車の座席は6人のコーチであり、1等寝台は2人部屋である。一部の列車には食堂車がついており、車内販売もある。暖房設備はあるが、故障していることも多い。冷房設備はない。

指定券は1週間前から予約センターで購入することができる。

ブカレスト・ノルド駅の窓口で時刻表が販売されており、必要な情報はすべてこれに記載されている。ただし、毎年12月のダイヤ改正時にあわせて時刻表が発売されるが、発売後直ぐに売り切れになることが多い。

列車はダイヤどおりほぼ正確に運行されているが、大雨や大雪で乱れることがある。

＜ブカレスト市内の交通機関＞

地下鉄、バス、市電(トランバイ)、トロリーバス、タクシーがある。地下鉄は近代的で便利である。

バス、市電、トロリーバスの切符は共通で、停留所の窓口で購入する。切符は乗車してから乗客自らが備え付けのパンチで改札することになっており、改札を忘れると、不定期に回って来る検札官から罰金を課せられる。定期券も発売されている。

流しのタクシーの中には法外な料金をふっかけてくるドライバーがいるので、自らタクシー会社へ電話して無線タクシー呼ぶ方が安全で確実。概して高級ホテルの近くやブカレスト中心部の交差点でタクシーを拾った場合、高く請求されることが多い。ブカレスト・ノルド駅、イビス・ホテル周辺、大きなショッピングセンターなどに停車しているタクシーの中にはたちの悪い運転手が出て、メーターを動かさなかったり、メーター自体がいい加減な場合があるので注意を要する。

白タクといわれるタクシーは安全性の面から利用しない。最近ではヘンリー・コアンダ国際空港の白タク取り締まり強化の結果、近くのバネアッサ空港の白タクが増加している。

ブカレストの主なタクシー会社は以下のとおり。

- ・Fly Taxi 電話番号 :9440
- ・Cris Taxi 電話番号 :9461、9466
- ・Confort Taxi 電話番号 :9455、9421
- ・Meridian Taxi 電話番号 :9444、9888
- ・Cobalcescu Taxi 電話番号 :9451
- ・Perrozi Taxi 電話番号 :9631

(2) 空港から市内への移動

タクシーと空港バスがある。タクシー料金はメーターで表示されるが、空港から市内までの値段の目安は20米ドル程度。

バスは783番が空港とブカレスト市内間とを1時間に数本往復している。乗車料金は安い。乗車券は、空港、統一広場、大学広場、ロマーナ広場、勝利広場、などのバス切符売り場で購入できる。

(3) 自家用車を利用する場合

一般に、運転マナーはよいとはいえず、車の急増に伴い事故も増えている。道路は舗装状態が悪いため陥没や凹凸があり、路上に故障車や障害物なども多いので注意が必要。また、前を走っている車の急ブレーキには特に注意を要する。

中心部は一方通行が多く複雑である。信号機は機能していないものもあるが、各交差点についている優先標識に従えば問題はない。冬季は路面凍結することもあるが、多くの車はスノータイヤを装着していないのでスリップに注意すること。また、市外では街灯が少なく、さらに道路状況も悪くなる。郊外では夜間に馬車の無灯火走行に注意すること。ガソリンスタンドは郊外にも増えて便利になってき

ている。

(4) レンタカーなどを利用する場合

レンタカーは、主要ホテル、ツアーリスト、空港で申し込める。保険制度もある。主なレンタカー会社は以下のとおり。

- Yellow Page**
- ・Exact Tours
 - ・AVIS

(5) 地図

ルーマニア全土を1枚に収めた道路地図がある。また、ルーマニア全土を1冊にした詳しい道路地図も販売されている。ブカレストの市内地図には、バス路線が記載されたものもある。地図は、書店、キオスク、主なホテル内のショップなどで購入できる。

鉄道の路線図は、ブカレスト・ノルド駅で販売している「Mersul Trainurilor」(時刻表)を参照。

7-2 交通事故、盗難

(1) 対処方法

事故を起こした場合は、最寄りの警察に通報しなければならない。すぐに過失の有無が決定される。人身事故の場合は被害者を救急病院へ移送する。当事者間の示談は言葉の問題もあり避けたほうが無難である。

強制保険は相手の車両だけに適用され、低額である。外資系の任意保険にも加入できるが、事故処理はしてもらえない。事故の場合は、必ず警察の事故証明を取り付けてから保険会社に連絡し、事後処理を行うこと。

(2) 救急病院

救急病院としてFloreasca Emergency Hospital(フロレアスカ救急病院)がある。

(3) 車両の盗難、車上荒らし

車両の盗難、車上荒らしが頻発している。一般に市民は警報装置付きの車を使っているが、あまり効果はない。車上荒らしを防ぐためには、車から離れる際、外から見えるところにバッグやものを置かないことが重要である。カーステレオもよく盗まれるので、ルーマニア人は車から離れる時にカーステレオ操作盤を取り外して持ち歩いている。

7-3 交通違反

(1) 交通法規

右側通行で、道路標識は日本とほぼ同じである。制限速度は市内で60km以下、郊外で80km、ハイウェイで100kmである。全般的に運転マナーは良くないので注意が必要。子供は前席に乗せてはいけない。

(2) 罰金、罰則

スピード違反や違法駐車には罰金が課せられる。飲酒運転は、場合によって

は懲役刑になる。

7-4 車の修理

(1) 部品

日本車の代理店でもほとんどの部品は取り寄せになる。定期的な交換部品（フィルターなど）も品揃えが少ないので、在庫があるときに確保しておくといよい。

(2) 修理工場

市内各所にあるが、技術的に格差がある。部品を中古品と替えられることがあるため、信頼できる店を選ぶか、信頼のおける知人に頼んで作業に同席してもらうなど監視をつけたほうがよい。

8. 通信



8-1 電話

(1) 一般事情

市内には2種類の公衆電話がある。オレンジ色の公衆電話はカード式で、国際電話もかけられる。一方、青い公衆電話（旧式）はコイン式で国内専用である。新たに設置されるのはオレンジ色の型で、青い公衆電話は少なくなっている。最近では携帯電話の普及が著しい。

電話の新規開設は、新しいオフィスビルなどで電話線がビルのなかまで引かれている場合は比較的早い。

(2) 国内電話

ダイヤル回線は時間がかかる。携帯電話にかけると割高となる。

(3) 国際電話

国際電話を直接かけられるインターナショナルラインと呼ばれる回線と、交換手を通さなければならない回線がある。最近ではインターナショナルラインが急増しており、交換手を通す場合でも非常にレスポンスは早くなっている。

(4) 携帯電話

日本の携帯電話では、NTTドコモ社がローミングサービスを行っているが、通話料は高い。ルーマニア国内の携帯電話会社ではOrange社、Vodafone社が最大手であり、ほかにCosmorom社、Zapp社もある。Orange社、Vodafone社はカード式携帯電話と、基本料金を払って加入するタイプの電話を販売している。カード式の場合は身分証明書なしで契約が可能で、携帯を買ったその日から利用できる。基本料金がかからないので短期滞在者にはお勧めである。カードは6～20米ドル前後のものがあり、駅や商店などで買うことができる。カードが切れたらまた新しいものを買ってチャージし、同じ番号のまま使い続けることができる。

基本料金を払って携帯電話を使う際は、加入時に身分証、住居の賃貸契約書などが必要である。

8-2 電信

(1) ファクシミリ

インターナショナルラインであれば簡単に設置できる。

外出先ではホテルまたは電話会社の支局で利用できる。ホテルでは使用料が加算され大変割高である。また、各都市の中央郵便局には通常ファックス機があり、海外にも通信可能である。

(2) テレックス

最近ではファックスに替わってきており、一般的ではなくなっている。

(3) 電報

現在、電報にかかわる業務は、郵便局から電話局に移管されている。電話番号957に電話して電報を申し込むシステムになっている。

(4) インターネット

国内にいくつかのプロバイダーがあるが、日本人がよく利用しているRoknetの場合は、日本の大倉商事の合弁会社Rokura (TEL : 211-1650) がプロバイダーになっている。

8-3 郵便

(1) 一般事情

郵便のあて先は自宅よりも、配属先気付けが安全である。配属機関などの事情を考慮した上で指定すること。

中央郵便局などはなく、No.1からNo.82までの郵便局がある。そのなかに外国からの郵便などを取り扱ういくつかのメイン郵便局があり、その1つにブカレスト郵便局No.41がある。そのつど、関税問題をクリアして手数料を支払った上で受領することになる。

・Postal Office No.41

所在地 : General Vladoianu 2-4 (Blv. Banu Manta.), Bucharest Sector 1

電話 : 222-4154

通常、輸送・通信に要する日数は次のとおりである(ルーマニアから日本へ送った場合)。

航空郵便 : 4~7日

航空小包 : 約7日(税関を通る場合は異なる)

国際宅配サービス : 3~5日(同上)

(2) 課税

手紙以外のすべての品は通関をしなければならないが、日用雑貨や日本食品には普通関税はかからない。ただし、電化製品に関しては例外で、普通高額の税金を課せられる。

DHLやOCSで貨物を送付した場合は、インボイスの記載は実際の内容物と合っていないなければならない。間違いがあると引き取り時のトラブルとなる。

(3) 国際宅配サービス

信頼できる国際宅配サービスとしてTNTがある。

・TNT

9. コンピューター



Yellow Page

9-1 ハード、ソフト

(1) 調達の仕方

IBMおよびその他のパソコン、互換機は市内のいたるところで購入できるが、日本語仕様の機器は販売されていない。Macintoshについてはシェアが少なく取扱店は少ないが、購入は可能である。修理などの相談もできる。Macintosh製品の取扱店の1つにMac Galleryがあり、IBM互換機を扱っている店としてFlamingo Computersがある(詳細はイエローページを参照)。

(2) 使用の際の注意

スタビライザーはなくてもパソコンの使用は可能だが、電圧変動による故障が起こり得るので、心配な場合は持参したほうが無難である。

ブカレストの路上ではよくゲームや各種ソフトなどの海賊版CDを売っていることがあるが、ウイルスが仕込まれている場合もあるので、購入しないこと。

ウイルス対策に関しては、日本で考えられるのと同様の措置をとること。

(3) 修理

修理会社はあるが、日本語仕様のパソコンには対応できず、英語か、ルーマニア語仕様のものだけである。主な修理会社は以下のとおり。

Yellow Page

- ・Flamingo Computers
- ・ASS
- ・Mac Gallery

10. 職場環境、勤務条件



10-1 職場環境、勤務条件

(1) 就業時間

政府機関の就業時間は、通常8:00から16:00くらいまでである。残業は普通しない。ルーマニアでは一斉に昼休みをとる習慣がなく、昼にはスナックやパンなどを少し食べるだけで続けて業務することが多い。



専門家の職場(例)

(2) 有給休暇

有給は年間21~30日間で、勤続年数に応じた日数を取得できる(公務員の場合)。

(3) 執務室

専門家の配属先により、ルーマニア人数人と執務室を共用する場合もあれば、個室を与えられる場合もある。パソコンの回線(LANや電話回線など)も与えられ

る。机の間の間仕切りは通常はない。

(4) 通勤事情

ルーマニア人は、バス、地下鉄、路面電車など公共の交通機関で通勤する人が多い。日本人は自家用車の利用が一般的といえる。

11. 出入国手続き



11-1 入国

(1) 空港施設概要

ヘンリー・コアンダ国際空港は、到着ロビーと出発ロビーが別個の建物に分かれている。両者は徒歩で行き来できる距離にある。到着ロビーでは、乗客の出口はひとつだけなので、待ち合わせは比較的簡単である。空港内にはレンタカー会社、両替所、雑誌スタンド、カフェテリアなどがある。出国ターミナルには免税店があり、民芸品、ワイン、雑貨品などが買える。

(2) 入国手続き書類

基本的には、パスポートをイミグレーションに提出するだけでよい。審査のあと、パスポートは返還される。

アンティークや楽器などの貴重品の持ち込みは必ず申告し、持ち込み証明書をもらうこと。また、オーディオ製品などの電化製品やパソコンを目立つ形で持ち込もうとすると、税関に目を付けられた時は多額の税金課税の対象となるので注意が必要。

(3) 入国審査

ビザも入国時に空港で発行してくれる。再入国ビザなどの取得は必要ない。一般的に日本人には入国時90日間の滞在ビザが与えられる。

(4) 税関検査

生鮮食品は農業省の許可が必要となるので要注意である。

(5) 空港内での留意点

空港にいるルーマニア人が勝手に荷物を運び、あとでチップを請求するトラブルがある。チップを払うつもりがない場合は、はっきりと断ることが必要である。

到着時に換金する際、空港内の両替所は市内より交換レートが悪い。

(6) 空港からの主な交通手段

タクシーと空港バスがある。タクシー料金はメーターで支払うが、空港から市内までの値段の目安は20米ドル程度。

空港バスはブカレスト市内まで、1時間に数本運行している。券売所の係員が不在の場合、バスの運転手がチケットを売ってくれる。乗車料金は安いですが、降車後の問題もあるので初めての人には勧められない。

(7) その他の留意点

該当情報なし。

11-2 出国

(1) 出国時の概要

滞在ビザの有効期限などを確認しておけば、特に問題はない。また、鉄道などの陸路での出国についても、日本人に対しては入国同様あまりうるさくはない。

(2) リコンファーム

現在、多くの航空会社でリコンファームの必要はなくなっているが、状況と必要性に応じてリコンファームしたほうが無難である。

(3) チェックイン

空港チェックインはフライト出発時間の1時間半～2時間前には行いたい。早朝の便などの場合、空港が込み合うので、早めに行ったほうがよい。

(4) 空港利用税

通常航空券に含まれている。

(5) その他の留意点

特に留意することはない。

11-3 帰国手続き

(1) 帰国時に必要な事務手続き

特別な手続きはない。

(2) 車の処分

比較的容易に買い手を見つけることができるので問題は少ない。

(3) 家財道具の処分

航空貨物はルフトハンザ・カーゴ(電話 : 201-4963)を利用する人が多く、海上輸送の場合は神野運送(電話 : 223-1413、223-1416、FAX : 223-1455)などを利用している。

ルーマニアで購入したものは自由に輸送できるが、日本などルーマニア国外から輸入したものはその際の証明書が必要となる。したがって、手荷物で持ち込んだコンピューターなどは、手荷物で持ち帰ることになる。

(4) 住宅の明け渡し

それぞれの契約内容によるが、通常1か月前までに家主に契約の打ち切りを通知する必要がある。家主にディポジットを預けている場合は、返却交渉をしなければならない。

(5) 外貨持ち出し規制

外貨の持ち出し制限はないが、1万米ドル以上は申告が必要である。

12. 治安、 緊急時の心得



※生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報入手してください。

12-1 暴動、クーデターなど

(1) 一般事情

ブカレスト市内で時折解雇反対、賃上げ要求等のデモが行われることがあるが、特に暴力的なものではなく、治安に影響はない。クーデターの心配も現在のところはない。

(2) 対処法

非常の際、外出や移動が困難になることが予測される。例えばハンガリーに近いところでは無理をしてブカレストに来ずにハンガリーへ避難することなども考慮に入れる必要がある有事の際、切符の手配が困難になることが予測されるが、可能であれば避難する際には航空機を利用する。

ブカレストの航空会社等の電話連絡先は次のとおりである。

- ・TAROM航空 /電話 :337-0400、314-4295
- ・TAROM航空(ヘンリー・コアンダ空港) /電話 :204-1000
- ・オーストリア航空 /電話 :312-0545、312-1266
- ・ルフトハンザ航空 /電話 :204-8410
- ・エールフランス /電話 :319-2703~5
- ・スイス航空 /電話 :312-0238、201-3432
- ・アリタリア航空 /電話 :210-4111、210-4112
- ・デルタ航空 /電話 :323-4465、323-4458
- ・英国航空 /電話 :303-2222、204-2001
- ・ヘンリー・コアンダ空港インフォメーション /電話 :212-1602、204-1000

緊急時に備え、平素より留意すべき事柄は次のとおりである。

- ・必要最小限のものをスーツケースなどにまとめ、常時持ち出せるようにしておく。
- ・家族全員の10日間ぐらいの生活費、および周辺国への移動に必要な現金を手元に確保しておく。
- ・食料、飲料水、医薬品、燃料などの非常用物資の備蓄。(少なくとも家族全員が10日間しのげることを目安とする)
- ・ナイフ、ローソク、マッチ、懐中電灯、缶切りなどのサバイバル用品の準備。
- ・自家用車の整備を心がけ、日頃燃料は満タンにしておく。また予備タンク(金属性)を備えておく。
- ・大使館への在留(帰国)届や転居届は必ず行う。

12-2 強盗、盗難

(1) 一般的治安状況

ルーマニアは東欧諸国のなかでは比較的治安はよいといわれるが、1989年の革命後急激に犯罪が増加している。犯罪増加の要因として、急速な民主化・自由化の実施により貧富の差が大きくなったことが考えられる。

日本人に対する凶悪犯罪はまだ見られないが、次のような被害が報告されて

いる。

- ・闇両替詐欺：しつこく換金を勧め、これに応じると換金と見せかけて巧妙にお金を詐取する。
- ・偽警官詐欺：偽警官が職務尋問と見せかけ財布のお金を抜き取る。私服の人間が、偽の警察手帳、バッジを見せて近づいてくる。暴力的な振る舞いに及ぶこともある。対策は町で声をかけられてもとりあえず、その場から立ち去ることである。
- ・盗難：列車やカフェテリアでは置き引きに注意する。また、日本人単身赴任者の留守宅で家財一式すべて盗難に遭ったケースもある。
- ・その他：人込みやバスの中ではスリや引ったくりに注意する。

(2) 住宅の防犯対策

一般的に留意すべき点は次のとおりである。

- ・自分と家族の安全は自分たち全員で守るという心構えが必要である。
- ・「予防」こそが最高の危機管理であり、そのための努力や経費は惜しまないこと。
- ・現地に溶け込むこと。隣人、現地職員、在留日本人といったさまざまな形で情報や援助を提供してくれるネットワークを形成することに努める。

住宅警備対策は次のとおりである。

- ・治安があまり良くないと思われる地域では、独立家屋は避け集合住宅にすること。
- ・独立家屋の場合は、住宅の三方が他の住宅で囲まれているのが望ましい。四方が道に面していたり、空き地に隣接している住宅は避けたほうがよい。
- ・集合住宅は2階以上（1階は独立家屋と同じ警備体制が必要）が望ましい。その場合でも上下からの賊の侵入には警戒が必要である。
- ・効果的な侵入防止策として、ワンドア・ツーロック（玄関扉や通用口）、防犯ベル、サイレン、鉄格子、センサーで点灯する照明装置、番犬の飼育、警備員の配置などがある。

(3) 市中での防犯対策

夜間の一人歩きや寂しい所を歩かない。外出の必要があるときは、できるだけ自動車やタクシーなどを利用すること。また、危険なところに近づかないこと。

(4) 注意すべき場所、危険地域

特にブカレスト・ノルド駅付近は危険といわれている。

(5) 被害時の心得

被害に遭った時、事件に巻き込まれた時は、大使館へ相談し、対策をとること。

12-3 火災、風水害、地震

(1) 一般的災害発生状況

地方部で時折大雨による水害が発生する。ブカレストでは1977年3月の大地

震で家屋の倒壊被害と約1600名の死者が出た。

(2) 防災対策

特に集合住宅の場合、地震の可能性がある地域では、建物の耐震性、地盤などの安全性を確認すること。また、防火、消化設備、避難経路、現地消防能力に関して注意が必要である。

(3) 被災時の心得

被害を受けた時は、大使館と連絡をとり今後の対応策を考える。

12-4 緊急連絡先電話番号

・在ルーマニア日本大使館

電話 :021-319-1890～1(8:30～12:30、13:30～17:30、17:30～

翌8:30及びおよび土・日、祝祭日は留守電が緊急用電話番号を案内)

・警察 :112

・消防 :112

・救急車 :112(民営 :973、976、978)

13. 社交



13-1 風俗習慣

ルーマニア独自の習慣はあるが、基本的には西欧スタイルを順守すれば問題はない。習慣の違いから現地の人々が不思議に思うようなことがあっても、日本的な習慣であると説明すれば、納得してもらえる場合が多い。

民族、言語はラテン系であるものの、長い共産主義時代の影響か、外国人との付き合いに消極的な面が見受けられる。一方、金曜日のパーティーなどは夜中の12時をすぎても終わらないなど、日本人が面食らう場面もある。

13-2 パーティーでの留意点

常識を持って対応すればよい。

13-3 来客時の留意点

同じく常識を持って対応すればよい。

13-4 訪問時の留意点

アポイントなしの突然の訪問は避けるべきである。自宅に食事などに招待された場合は、手土産を持参するのが普通である。手土産は酒類などの飲み物、菓子、花束などが一般的である。

13-5 禁止されている言動(タブー)

特になし。一般常識を持って対応すべきである。

13-6 日本人会

ルーマニア日本人会がある。役員は毎年改選されている。

13-7 JICA帰国研修員同窓会

これまで800名を超えるルーマニアの研修員が、JICAの研修事業を通じて日本へ行っている。帰国研修員たちは同窓会 (Alumni Association) を結成し、日本とルーマニアの架け橋となる活動を行っている。登録会員数は447名 (2006年9月現在)。連絡先はJICAルーマニア事務所。

13-8 現地の人々との交流

ルーマニア人は、一般的にオープンな性格なので、親しくなれば自宅に招待されることもある。また、田舎の別荘に招かれる機会もある。日本人とは金銭感覚が違うので、仕事帰りに一緒にレストランやバーで食事をするといったことは、こちらが招待した場合を除いて、非常に少ない。

14. 教育



14-1 教育事情

(1) 一般事情

教育制度は幼稚園 (3~7歳児)、小学校4年、中学校4年、高等学校4年、高等教育機関 (大学など) 3~6年となっている。義務教育は小学校から中学校までの8年間である。

大学へ進学するには、高等学校を卒業する際にバカロレア試験 (大学入学資格試験) に合格した上で、さらに希望する大学の入試にも合格しなければならない。大学への進学率は低く、3割程度と聞く。大学の修学年数は学部によって異なり、たとえば経済学部は4年、農学部は5年、医学部は6年である。さらに、試験に合格すれば修士課程 (1~2年) もしくは博士課程 (2~4年) などに進むことができる。博士号の取得には、まず専門試験に合格する必要がある。その後研究を行って論文を執筆し、審査を受け、最後に口頭試問に合格すると博士号が授与される。

教育機関のほとんどは国立であるが、私立校もある。国立校は授業料が無料である。なお、ブカレストなどの大都市の小・中・高等学校では施設が不足しているために、2部制を採っている場合がある。

保育園 (0~3歳) は、企業が従業員のために整備しているものがある。

(2) 日本人学校

ブカレスト日本人学校は1978年4月に開設され、月曜日から金曜日まで授業を行っている。2006年12月現在の生徒数19人、日本人教員6人、他にルーマニア人教師、用務員、運転手がいる。

日本人学校に入学、編入するために主に必要とされるものは、入学願書、入学金、スクールバス誓約書、幼稚園または小学校からの書類などである。編入

の場合、前に在籍していた学校の成績表などが必要となる。

学校への交通手段としては、スクールバスの利用か自家用車による送り迎えである。



・ブカレスト日本人学校

なお、子女の教育については、下記に問い合わせるとよい。

<海外子女教育振興財団>

URL : <http://www.joes.or.jp/>

E-mail : service@joes.or.jp

受付時間 : 9:30~17:30(月~金曜日、祝日・年末年始を除く)

・東京

〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル6階

TEL : 03-4330-1349 / FAX : 03-4330-1355

・関西分室

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-200 大阪駅前第一ビル2階

TEL : 06-6344-4318 / FAX : 06-6344-4328

(3) 現地校、外国人学校

現地の学校はルーマニア語による教育を行っている。他にはAmerican International School of Bucharest (AISB), British School of Bucharest, International School of Bucharest (ISB), Anna De Noailles High Schoolなどの外国人学校がある。



・American International School of Bucharest

・British School of Bucharest

(4) 幼稚園

アメリカンスクール付属の幼稚園(3歳以上)、個人経営の幼稚園(3歳以上)、私立保育園(1歳半以上)がある。これらはすべて英語による教育が行われている。アメリカンスクール付属の幼稚園の連絡先などは前項のとおりである。

私立保育園には、以下のものがある。



・International Nursery School

14-2 教育関係施設

(1) 図書館など

図書館は多く、国立図書館のほか、ブカレスト大学の中央図書館など各大学の図書館がある。しかし、蔵書はルーマニア語の書籍のため、これらを利用している日本人は少ない。日本人学校には図書室があり、日本語書籍を貸し出している。



・ブカレスト大学中央図書館

15. 家庭の使用人



15-1 一般事情

英語を話すことができ、かつ信用のおける人を雇うことは、地域情報を得たり、通訳をしてもらったりなど好都合だが、現地には英語のできる使用人は非常に少ない。

自家用車を持っている日本人のほとんどは、現地運転手を雇用している。家政婦／夫については、住居がそれほど広くないこともあり、常時雇用している日本人もいるが、パートタイムで雇用するケースもある。

なお、ルーマニアでは「メイド」という職業は革命(1989年)以前には公的に認められていなかったため、もともとメイドに該当する言葉はない。革命後は多くの人がメイドを職業としており、現在はフランス語の"Mana Jera(メナ・ジェラ)"とか「手助けをする女の人」という意味の"Fameie de Serviciu(フェメイエ・デ・セルビチュウ)"と呼ばれている。ここでは便宜上、家政婦／夫という語を用いる。

使用人の能力や人柄には個人差が大きいため、知人や信用のおける人に紹介してもらうのがよい。なお、雇用形態は運転手も家政婦／夫も通いがほとんどであり、住み込みで雇用している日本人はいない。

15-2 運転手

(1) 雇用

知人などに身元のしっかりした人を紹介してもらうとよい。

履歴書や紹介(推薦)状で人物、経歴、語学能力等を確認後、人柄、運転技量、車の維持管理に関する知識などを面談し確かめる。職業運転手ではない人を雇う場合が多いので、できれば実際に運転してもらって技術やマナーを確認したほうがよい。語学については、実際にはある程度の英語ができる人を雇っている場合が多い。

採用する場合、待遇などを取り決めてから1か月程度の試用期間を設けて雇用する。雇用の際は契約書を交わすのが一般的である。契約書の内容はさまざまだが、待遇と条件および要求事項をルーマニア語で書いたものを用意したほうがよい。

契約にあたっての主な留意事項は次のとおりである。

- ・給与額は、他の日本人が運転手に払っている相場を参考に、その人物に相応しい額を設定する。運転以外の仕事(雑用、大工、電気修理など)をしてもらう手当を含めての給与額にする場合もある。

- ・ボーナスや超過勤務などの手当についても取り決め、これらも契約書に明記する。

- ・所得税、社会保険料、年金など、国民が支払わなければならない金額が給与にすべて含まれていることを契約書に明記すべきである。また、これらの支払いは、この国の組織・制度に精通していなければ非常に面倒なため、それらの支払いは運転手本人に任せようがよい、その旨を明確にする必要がある。

・勤務は月～金曜で、通常土日と祝日は休みである。勤務時間は普通1日8時間である。この国では、一般的に昼食をとらず仕事の合間にスナックを食べて済ませる習慣があるため、双方合意の上昼食時間は特に定めない方法もある。

・有給休暇は一般的な組織では法律で保障されている。パートタイムで雇用している場合有給休暇は設けず、一時帰国中は賃金が発生しないようにする例もある。

・交通規則の順守、飲酒運転や私的使用の禁止など、重要と考えられる事項を解雇条件とともに明記し、不適任者を雇用した時の対策を講じておいたほうがよい。

(2) 運転管理

出勤管理、走行管理、燃料管理などは、運転日誌を設けて運転手が記入することとし、1日の最後に雇用者が署名確認するとよい。

(3) 日常管理

整備の不備などに気づいたときはすぐに注意したほうがよい。

一般的にルーマニアの人はプライドが高く、自らの運転方法をなかなか変えない人や、運転以外の仕事を嫌がる人、こちらの指示に対して反論してくる人などがあるが、その場合は冷静に話し合い解決すべきである。たとえ不愉快と感じても、そこからルーマニア人全体を批判するような言動は慎むべきである。

(4) その他の留意点

該当情報なし。

15-3 家政婦／夫

(1) 仕事の種類と人数

仕事の種類は特に定めず、料理、皿洗い、洗濯、掃除、子守などすべてを任せる場合が多い。前述のとおりルーマニアでは住居がそれほど広くないため、通常は家政婦を1人雇えば事足りる。

(2) 雇用

雇用方法は、友人、知人や家主など信頼のおける人から紹介してもらう。英語のできる人は少なく、あいさつ程度の英会話ができる人を雇用している場合が多い。また、比較的年齢の高い人が多い。

採用にあたっての留意事項は運転手と同様である。給与を含めた待遇や仕事の内容などについてよく話し合っておく必要がある。契約書を交わす場合もあるし、交わさない例もある。できるだけルーマニア語の契約書を交わし、待遇と条件および要求事項などの基本的なことは合意しておいたほうがよい。

給与額はさまざまで、運転手よりは低い場合が多いが、同程度の例もある。運転手と同様に、給与に税金や年金などが含まれていることを明確に伝えること。

住居が広くないために、パートタイム(例：1週間に3日間)で雇用している例がある。また2世帯で1人の家政婦／夫を、勤務が重ならないようにパートタイムで

雇用している例もある。勤務条件は運転手と同様である。

(3) 日常管理

不手際があった場合は、その場で注意することが必要である。

ルーマニア人の一般的特徴として、またメイドやサーバントといった歴史を持たずに革命後に家政婦／夫という職業が生まれたことから、やはりプライドが高い人が多い。そのために、指示を与えても自分の慣れた方法を変えない人もいる。冷静に対応し、不愉快なことがあったとしても、そこからルーマニア人全体を批判するような言動は慎むべきである。

15-4 庭師、ガードマン

一般的に一戸建ての賃貸住宅ではない場合、庭師や警備員の雇用はない。必要な場合は家主に相談するとよい。また、一般的に治安状況が良好なため、ガードマンを雇うする必要はない。

16. メディア



16-1 新聞、雑誌

(1) 現地発行の日刊紙

「Evenimentul zilei」(エベニメントウル・ジレイ紙)、「Adevarul」(アデバルル紙)、「Romania Libera」(ロムニア・リベラ紙)、日刊スポーツ紙の順で読まれている。国内での発行数および購読数ともルーマニア国内で発行された新聞が一番多い。

新聞はキヨスクなどで販売している。定期購読は前払いが必要である。

英字紙では「ナインオクロック」(月～金曜発行)がある。「ナインオクロック」は、政治・経済に関する記事が中心になっている唯一の英語日刊紙である。そのほか、フランス語、ドイツ語の新聞もある。

(2) 日本の日刊紙

OCS(海外新聞普及(株))を通して日本発行のすべての新聞が入手できる。ロンドンのOCSか日本で申し込む。ルーマニアのOCSは配達しか取り扱っておらず、申し込みは受け付けない。支払いは基本的に3か月分ずつの前払いであり、銀行振り込みでもカード引き落としでもよい。

 Yellow Page

・OCS

(3) 欧米紙／誌

外国発行の各種新聞もある。一般のキヨスクなどにはないが、ホテルで購入できる。

「International Herald Tribune」(英語)、「Financial Times」(英語)、「Le Monde」(フランス語)、「Le Figaro」(フランス語)、「Copriere Della Sera」(イタリア語)、「Frankfurter Allgemeine Zeitung」(ドイツ語)、「Bild」(ドイツ語)などがある。

定期購読については次の取扱所がある。



・Valenti International Press

欧米の主要な雑誌(「Newsweek」やファッション誌)は、インターコンチネンタル・ホテル内の書店やUnireaデパート内の書店などで入手可能。

(4)日本の雑誌、書籍

日本の出版物が購入できる書店はない。上記OCSに依頼すれば、日本の雑誌の定期購読が可能。

16-2 ラジオ

(1)ラジオ放送局

国営ラジオには次の5局がある。

第1放送局 : 一般向けニュース中心、153kHz

第2放送局 : 文化番組中心、855kHz

第3放送局 : 青少年向け、101.3kHz

第4放送局 : ブカレスト地域向け

ブカレスト国際放送局 : 国外向け

革命後はFUNラジオ(学生放送)、ラジオNOVA、ラジオ・デルタ(フランス国際放送を中継)などの民営FM局が首都ブカレストを中心に放送していたが、現在はPROFM102.8MHz(FM)やラジオコンタクト96.7MHz(FM)がよく聴かれている。

(2)NHKワールド・ラジオ日本(ラジオジャパン)

ラジオジャパンはヨーロッパ周波数帯で聴取可能であるが、受信状態は非常に悪い。周波数はNHK発行の「NHKワールド」で確認すること。また、インターネットでも番組表を含む情報提供サービスが行われている。

<ラジオジャパン問い合わせ先>

NHK国際放送局企画編成部

所在地 : 〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話 : 海外から : +81-3-3465-1111(平日/日本時間10:00~19:00)

日本国内から : 0570-066066(NHK視聴者コールセンター/24時間受付)

E-mail : nhkworld@nhk.jp

<周波数表、番組表の入手>

URL : http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radioguide_j.html

(周波数表、番組表確認)

FAX : +81-3-5454-0888 情報番号260

(日本語放送の周波数表・番組表FAXサービス)

郵送 : 上記NHK国際放送局企画編成部に請求する。(無料)

(3)聴取可能なその他の外国放送

隣国の放送は聴取可能であり、特に革命の際、ラジオ放送による情報が非常に有効であったことは有名である。BBC(ルーマニア語が主体、短波6050kHz、

11660kHz、9840kHz、7325kHz)やVoice of America(ルーマニア語、英語、1197kHz、68.7MHz、FM ESAT 92.7MHz)が有名である。

16-3 テレビ

(1)地上波放送局

国営テレビが2チャンネルあり、毎日およそ15時間放送している。国民から、放送内容が政治的に中立でないという非難が多いため、94年4月に国営ラジオ・テレビ局法案が可決され、公選による理事会が運営を行っている。

民営テレビには、多様な映画、スポーツ、娯楽番組を中心とした放送を行い、急速に視聴率を獲得しているPROTV放送をはじめ、充実したニュース番組や映画中心のAntena1、娯楽番組中心のCANAL38放送がある。ニュース専門局としては、Realitatea TV、Antena3やN24がある。

政治的にはそれぞれ中立の体制をとっているが、一般に民間は政府に批判的である。

(2)衛星放送、ケーブルテレビなど

ブカレスト市内にはケーブルTV会社が数社あり、それぞれ外国(イギリス、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、トルコなど)の多彩な番組を見ることができる。

ケーブルTVは、電話で接続会社に申し込むと、日にちを決めてから社員が自宅に工事のために来る。その際、手数料、ケーブル材料代などを現金で払う。月々の基本料金の支払いは、各戸に集金人が回って現金で支払いを受ける。クレジットカード、銀行引き落としは通常やっていない。料金を滞納すると、ケーブルを切られることもある。

マンションに住んでいる場合、1つのケーブル会社がそのマンション全体と契約している場合もあるので、家主に聞いてみるとよい。

主なケーブルTV会社は以下のとおり。



- ・Cablevision of Romania S.A.
- ・Astral TV

<NHKワールドTV問い合わせ先>

NHK国際放送局企画編成部

所在地 : 〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話 : 海外から : +81-3-3465-1111(平日/日本時間10:00~19:00)

日本国内から : 0570-066066(NHK視聴者コールセンター/24時間受付)

E-mail : nhkworld@nhk.jp

・番組表の入手

URL : <http://www.nhk.or.jp/nhkworld/>(週間番組表確認)

FAX : +81-3-5454-0888 情報番号258(週間番組表FAXサービス)

<NHKワールド・プレミアム問い合わせ先>

(株)NHK情報ネットワーク「カスタマーセンター」

所在地 : 〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町7-13

電話 : +81-3-5458-6601

E-mail : premium@nhk-jn.co.jp

・番組表の入手

URL : http://www.nhk-jn.co.jp/wp/ind_day1_a.htm(週間番組表確認)

FAX : +81-3-5454-0888 情報番号259(週間番組表FAXサービス)

(3)テレビ受信

ブカレスト市内ではケーブルによる受信が普通であり、アンテナによる受信は少ない。放送はPAL方式である。

ビデオデッキは日本のものを含めた各種メーカー品が出回っているが、NTSC・PAL両方式兼用の機器は入手しにくい。

日本からテレビ受像器、ビデオデッキを持参する場合は、方式の違いへの留意と変圧器が必要である。

17. スポーツ、 趣味、 語学学習




17-1 スポーツ

(1)ゴルフ

ルーマニアではゴルフ人口は少なく、ブカレストのゴルフ場はヘラストラウ公園内に1カ所あるのみである(6ホール)。ブカレストの郊外には数カ所のゴルフ場がある。

主なゴルフ場は以下のとおり。

<ゴルフ>

-  Bucharest Golf Centre
- Lac de Verde

(2)テニス、フィットネス

テニスは盛んに楽しまれている。公園内やホテルなどにコートが多くあり、その場で申し込めるが、屋内コートは少ないため、冬季は事前に予約する必要がある。個人レッスンも容易に受けられる。ラケットやボールはスポーツ用品店で買えるが、品数は限られている。

このほか、スポーツクラブ、ホテルのプールを利用できる。市民プールもあるが、定期的な清掃を怠っているプール施設があり、細菌に感染するリスクもあるので、水質に注意する必要がある。

主なテニスクラブは以下のとおり。

<テニス>

-  Tennis Club Herastrau

(3)その他のスポーツ

サッカーはレベルが高く、観戦も楽しめる。そのほかブカレストではアイススケート、乗馬、山間部や河川ではスキー、登山、ハイキングと幅広く楽しむことができる。ウエア、各用具は各専門店で購入できる。

17-2 趣味

釣り人口は非常に多く、単なる趣味としてだけでなく、魚を売ったり自分で食するなど、生活の手段としても盛んに行われている。ドナウ川をはじめとする大小河川、淡水湖沼などで、コイ、フナなどの小魚から、大河川ではパルクと呼ばれるナマズの一種やキャビアで有名なチョウザメまで釣れる。

釣り道具類はオボール広場やノルド駅近くの専門店で手に入れることができる。聞くとほとんどのルーマニア人は釣りの経験がある。

17-3 語学学習

(1) 語学学習施設

ルーマニア語が学べる語学学校は多数あるが、主なものは次のとおりである。

 Yellow Page ・Universitatea Populara

(2) 家庭教師

家庭教師は、知人に紹介してもらうなど口コミで探すことが多い。ブカレスト大学の日本語学科の卒業生や学生にあたるのが最も確実な方法である。ただし、教師が外国人の場合は多少割高と思われる。

家庭教師をつけることは、彼らを通してブカレストの社会・文化を知るよい機会となり、気の合った人が見つかりと語学以外の楽しみも増える。

18. 観光



18-1 地方旅行の留意点

国内旅行について外国人への規制はなく、自由に旅行することができる。治安はブカレストより地方のほうがよいといわれている。

18-2 主要観光地・保養地

ルーマニアは、地形の多様性、歴史的な遺跡、民俗的な伝統、伝統芸術などに富んでおり、多くの観光地と保養地がある。主要な観光地はママイア～エフォリエ・ノルド～ネプチューンの黒海のベルト状の海岸、ドナウデルタ、ブチェジ山脈、プラホバ溪谷、シナイア、ブラショフの山岳地帯などである。

モルドバ北部のブコビナには、16世紀に描かれたフレスコ画で有名な修道院と教会がある。そのフレスコ画は世界遺産となっている。


マラムレシュ地方、モルドバ地方、トランシルバニア地方には、スチャバ、ヤシ、クルージュ・ナポカ、シビウ、シギショアラなどの都市があり、中世の歴史を色濃く残している。

『地球の歩き方 ブルガリア／ルーマニア』（ダイヤモンド・ビッグ社）などを参考にすれば、問題なく主要な観光地を訪れることができる。地方でも設備のよいホテルの料金は比較的高い。

18-3 旅行代理店


国営企業の流れをくむ旅行会社カルパチオネテがある。1989年の革命後、続々と旅行代理店が開業しており、マゲル通りやビクトリア通り、その周辺の通りに沿って各社が営業している。対応はいろいろだが、何軒かを訪ねて相性の合う代理店を探すとよい。ほとんどの場合、英語が通じる。

下記の旅行代理店にはいずれも日本人社員がおり、日本語で手配を行ってくれる。

-  Yellow Page
- ・Exact Tours
 - ・Visit Romania

19. 私財の輸送、 引き取り、購入



-  Yellow Page
- ・Hobby House
 - ・Interdean
 - ・Corstjens
 - ・AGS

19-1 家財道具

(1) 輸送会社

日本から輸送する場合は、日本の運送会社が手配したルーマニアの運送会社が輸入手続きまでの一切を引き受ける。ルーマニアから日本に輸送する場合は、現地の会社に見積もりを依頼し、その後手続きを経て送付してもらう。主な輸送会社は次のとおりである。

(2) 輸入手続き

荷物の引き取りに際して、身分証明書など通関に関する文書の取得が必要となる。

(3) 輸入貨物の受け取り港

海上輸送の場合、オランダ・ロッテルダム港陸揚げ、以降ドイツ、ハンガリーなどを経由して陸送、またはルーマニア・コンスタンツァ港陸揚げ、以降国内陸送となる。航空輸送の場合、西ヨーロッパ主要都市経由、ルーマニアのヘンリー・コアンダ空港着となる。

19-2 自動車

(1) 一般状況

現地では日本車を含む先進国メーカーのヨーロッパ仕様車を購入できるので、あえて輸入する必要はない。

(2) 輸入手続き

日本からの輸入は、ヨーロッパ仕様と異なる上、所要時間、費用、通関手続きに費やす労力(関税関連法などが頻繁に変更されるため、手続方法が定まらない状況にある)を考えると、避けたほうがよい。事情により輸入する場合は、その人の立場や購入先によって手続きが異なるため、ディーラーなどに照会するこ

と。

(3) 現地での購入

代理店に注文して購入する。日本車は、在庫がない場合、日本あるいは他国の生産拠点から取り寄せるため、3か月から半年ほどかかる。

ドイツ車をはじめ西・北欧車を取寄せる場合、車種にもよるが注文から入手まで2~3か月程度要する。

(4) 自動車登録

手続き、車両登録、ナンバープレート取得などの手続きは、現地の購入先ディーラーに問い合わせること。法律の変更が頻繁にあるので、その都度確認する必要がある。

(5) 免許証取得

短期的には日本の国際免許証が有効だが(1年間有効)、長期滞在の場合は原則としてルーマニアの運転免許取への切り替え手続きをとることになる。

(6) 保険、税金

車両登録の際に、強制保険に加入しなければならない。毎年1回更新料を支払う。



・Asirom(アシロム)

20. 地方都市



現在のところ地方都市在住の長期専門家はいない。

イエローページ

*特に記載のない限り、ルーマニア駐在員事務所のあるブカレストの情報が中心になっています。

1. JICA 事務所(ルーマニア駐在員事務所)

名称	JICA/JOCV Romania Office
所在地	Aleea Alexandru 9A, 3rd Floor, Sector 1, Code 011821, Bucharest, Romania (注)2007年3月以降は同じビルの4階へ移転予定。
TEL/FAX	TEL :+40(ルーマニア国番号)-21-231-6723~5 / FAX :+40-21-231-6726
URL/E-mail	URL :http://www.jica.go.jp/romania/index.html / E-mail :office@jica.ro

2. 在ルーマニア日本大使館

所在地	8th Floor, America House East Wing, Nicolae Titulescu Nr.4-8, Sector 1, Bucharest, Romania
TEL/FAX	TEL :021-319-1890~1 / FAX :021-319-1895~6

3. 緊急連絡先電話番号

日本大使館	TEL :319-1890~1
警察	TEL :112
消防	TEL :112
救急車	TEL :112(民営 :973, 976, 978)

4. ホテル *料金はユーロ(2006年現在)で、当事務所から代理店経由で予約した場合の参考例。ただし、このところ料金の値上がりが著しく、また季節によって変動するのでその都度確認が必要。

■ Intercontinental Hotel(インターコンチネンタル・ホテル)	
B-dul Nicolae Balcescu 4	
TEL :310-2020 / FAX :312-0486	
URL :http://www.ichotelsgroup.com/	
E-mail :bucharest@interconti.com	
料金 :シングル 170、ダブル 185	
American Express、Master Card、VISA、JCB	
■ Minerva Hotel(ミネルバ・ホテル)	
Str. Gh Manu 2-4	
TEL :212-8526 / FAX :312-3963	
URL :http://www.minerva.ro	
E-mail :minerva@minerva.ro	
料金 :シングル 65、ダブル 83	
American Express、Master Card、VISA、Diners Club	
■ Hotel Ambassador(ホテル・アンバサドール)	
B-dul Maqheru 8-10	
TEL :315-9080 / FAX :312-3595	
URL :http://www.ambasador.ro	
E-mail :hotel@ambasador.ro	
料金 :シングル 65、ダブル 74	
American Express、Master Card、VISA	
■ Ibis Hotel(イビス・ホテル)	
Calea Grivitei, 143	
TEL :202-9104 / FAX :222-2723	
E-mail :reservations@ibisaccor.ro	
料金 :シングル 76、ダブル 82	
American Express、Master Card、VISA、Diners Club	
■ Lido Hotel(リド・ホテル)	
B-dul Maqheru 5-7	
TEL :314-4930 / FAX :312-1414	
E-mail :hotel@lido.ro rezervari@lido.ro	
料金 :シングル 83、ダブル 92	
American Express、Master Card、VISA、Diners club	

5. 不動産会社

■ Artas(アルタス)	Str. Mavrogheni 13, sector 3
TEL :313-2030/2029(FAX 兼用)	
URL :http://www.artas.ro	
E-mail :artas@com.pcnnet.ro	
日本人が共同経営者である。	

6. レストラン

- Balada(バラダ)
 Blvd. N. Balcescu 4(インターコンチネンタル・ホテルの21階)
 TEL :614-0400
 西欧化したルーマニア料理のレストラン。風景を楽しみながら食事ができる。
- Boema(ボエマ)
 Str. C.A. Rosetti 10
 TEL :313-3783
 ルーマニア料理。手ごろな価格でメニューが豊富である。民俗音楽のバンドがつくこともある。
- Burebista(ブレビスタ)
 ○本店 Calea Mosilor 195
 TEL :210-9704
 ルーマニア料理が安く楽しめる家庭的な店。
 ○支店 B-dul N. Titurescu
 TEL :212-5428
 魚専門のルーマニア料理店。チョウザメや黒海の鯛が食べれる。
 ○支店 Str. Batistei 14
 TEL :211-8929
 「狩人料理」が売りもの。熊や鹿の肉を出す。
- Casa Capsa(カサ・カプシャ)
 Str. Edgar Quinet 1
 TEL :615-6101
 19世紀に開店した伝統あるルーマニア料理店。戦前には多くの文化人や芸術家が集まったといわれている。
- Pescarus(ペスカルシュ)
 Herastrau Lake
 TEL :679-4640
 ヘラストラウ湖畔にあるルーマニア料理店。湖を一望しながら食事ができる。
- Doi Cocosi(ドイ・ココシ)
 Sos. Bucuresti-Tirgoviste 6
 TEL :667-1998
 ブカレスト中心から15kmほど離れた郊外にある鶏料理専門の田舎風レストラン。
- Casa Doina(カサ・ドイナ)
 Sos. Kiseleff 4(キセレフ公園内)
 TEL :222-3179
 西欧化したルーマニア料理。敷地が広く、夏は屋外で食事を楽しめる。
- La Mama(ラ・ママ)
 ○Str.Episcopiei 9
 TEL 312-9797
 ○Blvd. Barbu Vacarescu 3
 TEL :212-4086
 URL :http://www.lamama.ro
 「家庭の味」をうたい文句にするルーマニア料理店。人気店なので、あらかじめ予約をしたほうがよい。
- Cafe de Paris(カフェ・デ・パリ)
 Str. Jean-Louis Calderon 33
 TEL :312-7013
 ロンドン、パリ、ニューヨークなどにあるフランス料理のチェーン店。
- La Belle Epoque(ラ・ベル・エポック)
 Str. Beller 6
 TEL :230-0770
 ベルギー料理とルーマニア料理のレストラン。ベルギーのビールがおいしい。
- Da Vinci(ダ・ビンチ)
 Str. Ion Campineanu 11
 TEL :312-2492
 イタリア料理の専門店。雰囲気がよい。
- Capricciosa(カプリチオーザ)
 Ion Ionescu de la Brad Blvd. 2
 TEL :230-1192
 イタリア料理店。
- Trattoria Il Calcio(トラットリア・イル・カルチオ)
 Str. Mendeleev 14
 TEL :0722-134-299(携帯)
 ロマーナ広場に近いイタリア料理店。人気店なので夜は予約が必要。
- Casa Veche(カサ・ベケ)
 Str. George Enescu 15-17
 TEL :615-7897

	ピザが有名なイタリア料理店。階下はケーキ店。夏には戸外で食事を楽しむことができる。
■Haveli (ハベリ)	Str. Teodosie Rudeanu 3 TEL :222-1855 インド料理店。
■京都	Calea Dorobantilor 79A TEL :610-7950 日本料理店。
■あさみ	Calea Victoriei 17 TEL :312-4785 日本料理店。
■Golden Dragon	Biserica Amzei Str. 6 TEL :317-7497 中国料理店。
■Korea House	Str. Bargaului 31 TEL :667-2119 家庭的な雰囲気の韓国料理店。

7.食料品の入手

<市場>

■Piata Amzei (ピアツツァ・アムゼイ)	Str. Piata Amzei 10-13 営業時間 :だいたい毎日 8:00~18:00 ぐらいまで。土日は 15:00 ぐらいまで。 外国人が多く利用するので、他の市場より少し高い。
■Piata Domenii (ピアツツァ・ドメニイ)	品揃えがよく新鮮。スーパーマーケット Anqst もあるので便利。
■Piata 1 Mai (ピアツツァ・ウスマイ)	B-dul Ion Mihalache 近くにスーパーマーケットの La Fourmi と Mega Image があるので便利。
■Piata Froreasca (ピアツツァ・フロレアスカ)	Froreasca 通り。横にスーパーマーケットもある。
■Piata Dorobanti (ピアツツァ・ドロバンチ)	Dorobanti 広場にある市場。近くに 24 時間営業のスーパーマーケット NIC があるので便利。

<スーパーマーケット>

■Mega Image (メガ・イマージュ)	Stefan Cel Mare 226 または B-dul 1 Mai 92 TEL :210-4007 営業時間 :8:30~21:30、(日曜)8:30~18:00 品揃えがよい。白菜が手に入る。
■La Fourmi (ラ・フォルミ)	Bd. 1 Mai 58 または Piata Unirea 1 TEL :312-4025 営業時間 :8:30~20:30、(日曜)9:00~15:00 調味料の種類が豊富。
■Metro (メトロ)	B-dul Iuliu Maniu 500 TEL :402-3150 営業時間 :9:00~18:00 ドイツ資本の量販店。入場には会員証がいる。
■Carrefour (カルフルー)	Autostrada Bucuresti-Pitesti km11.4 TEL :430-5571 営業時間 :9:30~21:30、(土)9:00~21:30、(日)9:00~20:00 フランス資本の大型スーパー。食料品や電化製品などの種類が豊富。
■Selgros (セルグロス)	Bucharest-Ploiesti Highwav 55-65 TEL :307-8000 会員制だが、入口でテンポラリー会員になれば入場できる。その際身分証明書が必要。
■NIC (ニック)	○Intrarea Amzei 10-22 ○Radu Beller St. 5-7 ○Piata Amzei St. 15 チェーン店のスーパーマーケット。24 時間営業している。
■Billa (ビラ)	○Postavarul St. 24-52 /TEL :345-275 ○Barbu Vacarescu St. 154-158 /TEL :230-6002

- Cora (コラ) OGranitul 20,Verqului Road /TEL :205-3500
OMilitari,Bucharest-Pitesti Highway,km 11.4 /TEL :407-5500

8.デパート、ショッピングセンター

- Unirea (ウニレア・デパート)
Piata Uniri 1
TEL :303-0208
営業時間 : (月~土)9:00~22:00、(日)9:00~20:00
URL :<http://www.unireashop.ro>
- Bucharest Mall (ブカレスト・モール)
Calea Vitan St. 55-59
TEL :327-6700
営業時間 :10:00~22:00
- Plaza Romania (プラザ・ルーマニア)
Timisoara Blvd.
TEL :319-5050
営業時間 :10:00~22:00
- Victoria (ビクトリア・デパート)
Calea Victoriei Drobanti 17
営業時間 :9:00~20:00
- Mario Plaza (マリオ・プラザ)
Calea Drobanti 172
営業時間 : (月~土)10:00~21:00、(日)11:00~18:00

9.家具

- Mobexpert (モブエキスパート)
Str. Fabrica de Glucoza 21

10.工具、素材

- Bricostore(ブリコストアー)
Autostrada Bucuresti-Pitesti km11-12
TEL :407-7077 / FAX :407-7078
E-mail :magazin@bricostore.co.ro

11.金融機関

- BCR Bank B-dul Regina Eizabeta 5
TEL :312-0056 / FAX :315-8299
URL :<http://www.bcr.ro>
E-mail :bcr@bcr.ro
- ABN Amro Bank
2 Expozitiei Blvd.
TEL :202-0400 / FAX :224-2736
URL :<http://www.abnamro.com/>
- Citibank
Str. Iancu de Hunedoara 8
TEL :210-1850~2 / FAX :210-1854
URL :<http://www.citibank.com/romania>
- ING Bank
Sos. Kiseleff 13-15
TEL :222-1600 / FAX :222-1401
URL :<http://www.ingbank.ro>
E-mail :office@ingbank.ro
- HVB Tiraic Bank
Dr. Grigore Mora St. 37 (Charles de Gaulle Sq.)
TEL :203-2222 / FAX :230-8489
- BRD Bank
Bdul Magheru nr 1-3 parter
TEL :317-3617
- Finnansbank
Splaiul Unirii nr. 12, bl. B6, sector 4
TEL :301-7100

12.レンタカー会社

- Exact Tours
Str. J.L. Calderon nr. 36, Ap. 3
TEL :312-3045 / FAX :312-3045
E-mail :office@exact-tours.ro
営業時間 :9:00~17:00

■AVIS	ヘンリー・コアンダ空港、ヒルトン・ホテル内、インターコンチネンタル・ホテル内、ミネルバ・ホテル内 TEL :210-4344、210-4345(予約センター) / FAX :210-6912(予約センター) URL :http://www.avis.ro E-mail :reservation@avis.ro
-------	--

13.国際宅配サービス

■TNT	Calea Victoriei 155, Bloc. D1, Tronson 5, Floor 2nd, Sector 1 TEL :303-4567 URL :http://www.tnt.com/country/ro_ro.html 営業時間 : (月~金)8:00~18:00、(土)8:00~14:00
------	--

14.コンピューターの販売・修理

■Flamingo Computers	B-dul Titulescu nr.121 TEL :222-5041 E-mail :titulescu@flamimgo.ro
■ASS	Calea Giulesti 43 TEL :211-7652/7655 / FAX :220-2610 Windows 機の修理会社。
■Mac Gallery	B-dul Natiunilor Unite 4 TEL :335-8562~3 / FAX :335-8560 E-mail :office@macgallery.ro Machintosh 製品の取り扱い店。

15.教育機関

■ブカレスト日本人学校	Str. Alexndru Constantinescu Nr. 61 TEL :222-1985 / FAX :222-1986 URL :http://www.jpschool.ro E-mail :jpschool@zappmobile.ro
■American International School of Bucharest(アメリカンスクール)	Sos Pipera Tunari 196 TEL :212-3498/3574 / FAX :210-2006 URL :http://www.aisb.ro E-mail :office@aisb.ro 付属の幼稚園もある。
■British School of Bucharest	51B Aron Cotrus St., Sector 1 TEL :232-5657 / FAX :210-2006 E-mail :office@britishschool.ro
■International Nursery School(幼稚園)	Soseaua Nordului 119 P.O. Box 18-133 TEL :232-1137(FAX 兼用)

16.図書館

■ブカレスト大学中央図書館	Str. Boteanu. nr.1 URL :http://www.bcub.ro/ 利用時間 : (月~金)8:30~20:00、(土)8:30~18:00、(日)8:30~14:00 学生以外の人でも利用できる。入館証を作る際はパスポートと写真を持参すること。
---------------	--

17.新聞の購読

<日本の新聞>

■OCS 海外新聞普及(株)輸出購読サービス	〒108-8701 東京都港区芝浦 2-9-13 TEL :03-5476-8131 / FAX :03-3453-8091 URL :http://www.ocs.co.jp/ E-Mail :subs@ocs.co.jp
■OCS Europe Limited(ロンドン OCS)	1 Gallewall Road, Bermondsey, London SE16 3PB TEL :+44-20-7252-1122 / FAX :+44-20-7740-0164 URL :http://www.ocs.co.jp

<外国の新聞>

-
- Valenti International Press
 Str. Dorobeta 4-10. ET 3. a.p. 3. Sector 3
 TEL :210-8382 / FAX :210-8328
-

18.ケーブル TV 会社

-
- Cablevision of Romania S.A.
 Caraiman 118
 TEL :224-0171
 URL :http://www.cvr.ro
-
- Astral TV Calea Victoriei 100
 TEL :311-2200
-

19.スポーツ施設

<ゴルフ場>

-
- Bucharest Golf Centre
 Sat Tunari
 TEL :222-9473
-
- Lac de Verde
 Str. Caraiman 57, Breaza (cod 2165)
 TEL :024-434-3525 (FAX 兼用)
 URL :http://www.lacdeverde.ro/
 E-mail :contact@lacdeverde.ro
-

<テニス>

-
- Tennis Club Herastrau
 Soseaua Nordului 7-9
 TEL :230-5948 / FAX :232-3308
 URL :http://www.tch.ro/indexmenu.htm
-

20.語学学校

-
- Universitatea Populara
 B-dul. Nicolae Balcescu 18
 TEL :314-0063
-

21.旅行代理店

-
- Exact Tours Str. J.L. Calderon nr. 36, Ap. 3
 TEL :312-3045 / FAX :312-3045
 E-mail :office@exact-tours.ro
 営業時間 :9:00~17:00
-
- Visit Romania B-dul. Ion Mihalache 60-62
 TEL :223-1818 / FAX :223-1810
 E-mail :avako.funatsu@visit.kappa.ro
 営業時間 :9:00~17:00
-

22.輸送会社

-
- Hobby House TEL :210-9531
-
- Interdean TEL :220-1168/4456
-
- Corstjens TEL :240-3702~3
-
- AGS TEL :212-1233
-

23.保険会社

-
- Asirom (アシロム)
 B-dul Titulescu nr.121
 TEL :222-5041
 E-mail :titulescu@flamingo.ro
-